

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長野県	事業実施主体	長野県、根羽村	地域再生計画名	根羽村「地域資源を活かした村づくり」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	長野県 根羽村役場 振興課長 鈴木伸弥		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	森林整備の推進	5,500㎡	H26	6,000㎡	H29	5,400㎡	6,500㎡	H31	△	林道の整備により、森林整備を進めているが、現状として目標を下回る可能性がある。
	指標 2	地域材利用住宅の建設推進	140戸	H26	150戸	H29	160戸	165戸	H31	○	積極的に地域材のアピールにより効果が見られ、目標を達成できる見込みである。
	指標 3	森林資源の循環利用	0㎡/年	H26	280㎡/年	H29	160㎡/年	300㎡/年	H31	△	現状としては目標に達していないが、木育関連の強化により未利用材の利用は年々増にある。
	指標 4	交流人口の増による地域産業の活性化推進	210,000人	H26	215,000人	H29	100,000人	220,000人	H31	×	路網整備が進み安全な道路となっているが、村を訪れる人は中間目標値には達していないのが現状である。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み							
特別措置を適用して行う事業	村道整備事業（整備延長）	619m	509m	619m	今回の道路網整備により、住民の完全が確保され、安心・安全な道路となり、容易に通行する事ができるようになった。また、村を訪れる人たちにも安心して利用している。						
	林道整備事業（整備延長）	4,895m	1,565m	4,895m	村道の整備と併せて一体的に整備したことで、森林資源がある場所へ容易に行け、搬出時も低コストで運搬できるようになった。今後も引き続き、道路網整備を進めていき、森林整備を効率よく促進していきたい。						
その他の事業	根羽スギの柱50本提供事業	森林整備の推進と併せて地域材利用住宅の建設促進を図る。			根羽スギを広くPRしていく事を目的としており、継続的に10件以上の物件へ提供を行っている。今後も引き続きPRをしていきたい。						
	森林の里親制度による企業と連携した森林づくり推進事業	一般企業との間で「森林の里親制度」を締結し、資金協力をいただき、森林整備を実施する。			企業との連携した森林づくりを積極的に行うひとつとして、社員の方と交流を実施する中で、森林の重要性や環境保全の大切さを体験等を通じて理解してもらえ、様取り組んできた。引き続き環境保全の大切さを多くの方に理解してもらえよう取り組みを強化していきたい。						
	矢作川上下流協働による地域づくり	下流域自治体や住民、企業、団体等幅広く協力いただき、森林整備等の環境保全への取り組み。			多くの方に当村の取り組みを知ってもらうため、下流域で主催されているイベント等への積極的に参加する事で、上流域の存在を広くアピールしていく。今後も交流人口の増に繋げていきたい。						
計画外で独自に実施した事業	観光対策事業	村内の観光施設に対する整備等を実施			村内の観光施設に案内看板を設置するなど、観光施設のアピールのひとつとして行った。今後も多くの方に訪れてもらえるような工夫をしていきたい。						
	大杉周辺整備事業	月瀬の大杉の周辺整備を実施			樹齢約1800年の大杉の周辺を整備する事により、観光客の増に繋がった。特に大型バスが入ることができる駐車場を整備したことにより、容易に立ち寄ることができるようになった。						
④評価方法	地域再生協議会を開催し、中間目標値の達成状況の評価や改善すべき事項の検討を行った。										
⑤中間評価の公表方法	根羽村役場の振興課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生道整備推進交付金を活用した村道と林道を一体的に整備することにより、安心・安全な道路網整備を目指してきた。これにより、住民生活の確保や林道付近での森林作業など一定の効果が得られたと考えている。今後、更に村全体の活性化を目指すために、下流域住民との積極的交流、企業・団体等に対して環境保全の大切さを伝え、協働で森林づくりに励む必要がある。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画に沿って事業を推進し、目標達成に向けて様々な取り組みを進めているが、目標達成には少し厳しい状況である。その要因の一つとしては、交流人口の増による地域産業の活性化推進で目標とした当村を訪れる人数が思うように増加しない所にある。原因の一つとしては、台風等の天候不順などにより長野県全体でも減となっている状況である。この事実をしっかりと受け止めたうえで、計画外で独自に実施する事業等のPRに力を入れ交流人口が増えるよう力を入れていく。また、森林資源の循環利用については、村内の拠点施設に木質バイオマスを導入したことなどの木育関連の強化により間伐材の有効利用に繋がっているため、森林整備の更なる推進と併せ資源利用の拡大を図る。今後も引き続き本地域再生計画に沿って進め、事業を強化していくことが重要であると考えている。										